



ブラッシュアップ入院では、LSVT LOUD®やLSVT BIGのプログラムを用いて、4週間、集中的なリハビリテーションを提供します。LSVTプログラムは国立衛生研究所からの資金提供により過去20年以上にわたって開発が続けられました。そして科学的研究が行われ、パーキンソン病患者さんの身体機能が改善したことが報告されています。

～ブラッシュアップ入院 病棟での取り組み～

入院された日に、看護師さんが日常生活で困っていることや、今回のブラッシュアップ入院での目標を聞き取ります。

その後、リハスタッフは身体機能を評価し、病棟スタッフと情報を共有し、患者さんと目標を決定します。その目標に向かってスタッフ全員で後押しします。



リハビリでできるようになったことを、退院しても自宅で継続できるように、毎日リハビリスタッフから課題が出ます。

その課題を看護師さんを行い、日常生活でもできるように練習していきます。

スタッフは患者さんと目標を共有しているので、その目標に向けてスタッフ全員で後押しします。



毎週金曜日には医師、リハスタッフ、看護師、ソーシャルワーカーでカンファレンスを行います。

リハビリの進捗状況を確認し、関係スタッフで情報を共有します。

退院時には担当者会議を実施し、医師、リハスタッフ、看護師の立場からブラッシュアップ入院の結果を報告します。

ケアマネージャーさんをはじめとした在宅スタッフの方とも情報を共有し、在宅生活での注意点などを確認します。



ブラッシュアップメモ

「ボタンやファスナーがとめにくい」「細かな作業がやりにくい」と感じたことはありませんか？そんな時は、手を大きく握ったりひらいたりを5～6回ほど繰り返してみてください。手を大きく動かすことで、動かしやすくなることがあります。



※ブラッシュアップ入院のパンフレットが必要な方は地域医療連携室までご連絡下さい。



お問い合わせ先
高松医療センター 地域医療連携室
TEL：087-841-2162

ブラッシュアップ入院の
パンフレットはこちら

